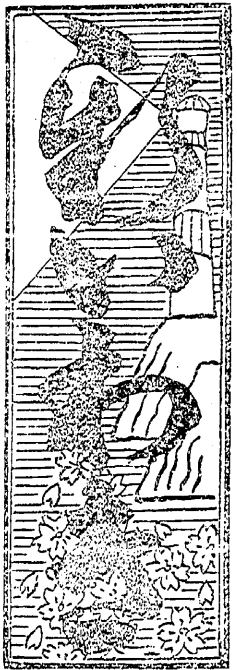


刊夕日一月六



### 石城地方の田植は

#### 本月六七日頃から

苗は伸びが足らぬ様だが  
不足は絶対になさそうだ

石城地方に於ける田植は十日前後に於て神谷村その  
導當局の早植奨励で漸次一他の一小部分に腐敗病に胃  
般に早くはなつて来たが本されぬ味のものがあったが  
年は苗の發育が若干遅れた ボルドー液の撒布で被害を  
爲めに最も早い警備村田場防止し其の後順調に復して  
坂方面が本月の六七日頃次居り一般から云へば伸びの  
は十日過ぎから愈々開始さ 足らぬ様にはあるが昨今農  
れて二毛作關係を有するも 家に杞憂される様な苗の不  
の等も二十日頃までには大足は絶対にあるまいと云は  
部分終了するものと見られ れてゐる。

### 飛んだ光秀

湯本町三國居住下遠光秀  
(二四)は三十一日正午頃同  
町江尻タツ方前にあつた渡  
邊村江尻男所有の自轉車  
を窃取しそれを抵當に同町  
某料理店で盡遊びをきめ込  
んで逃走したが今曉平署員  
に捕はる。

### 感心な運轉手

平驛前昭和タクシー運轉手  
小林清七(二二)が廿九日  
午後十時頃貸切自動車で四  
倉から一名の客を乗せて歸  
り車體を掃除中現金六百六  
十圓及び四百圓記入の郵便  
便つてゐるが小名濱大政綱で

休日 日曜祭日  
一ヶ月 廿五  
高税十五錢一部二錢  
場所指定廿四圓  
發行所 谷  
新いわき新聞社  
福島縣平町大町五

ごだくの絶えない平町の  
理髮業者組合で今度は結髮業  
者が理髮組合との會計分離  
を要求し内規を定めて伊藤  
署長へ提出したので平署で  
は三十一日午後一時から署  
會議室へ結髮業者四十三名  
を集め協議したが同會議に  
は例の比佐派と見られる矢  
内しげ外十數名が連袂欠席  
したため總意を確かめるこ  
とが出来ず結局うやむやの  
會合に終つて午後四時散會  
した。

### 情夫ミドロ

平町南町料理店第三新橋家  
方抱へ酌婦藤藤たけ(一八)  
は三十一日午前四時頃前借  
二百圓を踏み倒して情夫と  
駆落したので今一日抱へ主  
工業株式會社事務員が遺失  
したもの判明謝禮十圓を  
贈られた。

### 結髮業者總合

川俣署から平署に轉任した  
巡查部長圓通重一氏は一日  
着任した。

### 鯛の大漁、鯉の來群

#### 活氣づく石城七濱

景氣は先づ七濱から  
千五百貫の鯛の大漁あり水  
揚相場二十割を唱へて素職  
員三名を使用して目下取網  
らしい活況を呈したが更に  
磐城丸の報告によつて鯉群  
が漸次石城沖に近づきつゝ  
あるとの報告を受けた漁師  
連は景氣は先づ七濱からと  
ばかりすばらしい豊漁つづ  
きに喜んでゐる。

### 家賃賃賃価格

#### 第二次委員會

石城郡に於ける七年度家賃  
稅調査第一次委員會の調査  
に基づき家賃賃賃價格調査  
結果心臓麻痺と判明した。

### 階級戦線から

#### 身を退く松本氏

指導者を失つた全勞支部  
遠からず解消の運命か

全國勞農大衆黨石城支部長  
松本清之丞氏は昨秋の衆議  
戰後病氣のため引籠り中で  
あつたが今回病弱を理由と  
して支部長を辭任し同時に  
一切の無産階級運動から手  
を引くこととなり支部執行  
委員會へ辭意を表明すると  
共に本部へ對し脱黨届を提  
出することとなつたので支  
部長書記代理藤藤房夫氏は  
兩三日中に執行委員會を開  
き正式に辭表を受理した上  
支部今後の態度方針につき  
協議する筈である。

### 新緑日記

#### 庭野草之助

五月十五日夕刻。煤酌した  
若夫婦を招いて晚餐を共に  
した結婚式の済む迄は煤酌  
人は絶大の権力を與へられ  
た上絶對の尊敬を拂はれ引  
出物も四人分貰はれるので  
新婦の仲のよいのを見る位  
なうなつたわいと考へると  
大衆黨に合流後も支部長と  
九度の盃を終へて夫婦の契  
の維談を終へて新婦新婦と  
さんやられたとあわたた  
を認めなかつた。

### 悲惨、四十歳の酌婦

#### 子の愛にひかれた母が 水草稼業に身を落す迄

十六才の子を持つ四十一才だが今春愛兒芳雄は東京府  
の母親が子の愛のために酌北豊島郡村橋の某中學に  
入學したので學費に困つた  
茨城縣久慈郡太田町生れ須  
田ミヨ(四一假名)は數日  
前僅か五十圓の前借で小名  
の許に託し關の女となつて  
茨町の某料理店へ酌婦に住  
込みべく平署へ願ひ出て來  
たがミヨは水戸藩士の家に  
生れ兩親の慈愛の手に何不  
自由なく女學校まで卒業し  
十九の春から廿三の年まで  
代用教員となつてゐるうち  
兩親に死別しその後石城郡  
に來てゐる頃内郷村某炭礦  
の教員と戀に落ち一子を果  
げたが間もなく最愛の夫に  
先立たれて了つた彼女は  
遺された愛兒を養ふべく上  
京して職を求め女中、女給  
校六年生四百六十名は曾我  
論に引卒され一日午前八時  
二十分發列車で出發した四  
日後歸郷の豫定である。

### 平商生出發

平商五年生三十五名は仙臺  
第二師團兵營見學射擊演習  
のため駒場配屬將校宮澤教  
諭に引卒され一日午前八時  
二十分發列車で出發した四  
日後歸郷の豫定である。

### 各地雜信

廿六日午後十時三十分下  
關發、昌慶丸乗船、午後八  
時釜山着、市内自動車に  
て見物、九時十分發急行  
にて京城に向ふ、釜山驛  
に於て元代議士安島重三  
郎氏同車せらるる河川は各  
地護岸工事、山林に至る  
所松の植林中に候其の施  
設見るべきものもある朝  
鮮民の住宅の儉少なるに  
は驚くばかりにて其の動  
作の悠長なる亡國民の本  
領なるものにや(釜山京  
城間車中にて野崎滿藏氏

### 渡満通信

廿六日午後十時三十分下  
關發、昌慶丸乗船、午後八  
時釜山着、市内自動車に  
て見物、九時十分發急行  
にて京城に向ふ、釜山驛  
に於て元代議士安島重三  
郎氏同車せらるる河川は各  
地護岸工事、山林に至る  
所松の植林中に候其の施  
設見るべきものもある朝  
鮮民の住宅の儉少なるに  
は驚くばかりにて其の動  
作の悠長なる亡國民の本  
領なるものにや(釜山京  
城間車中にて野崎滿藏氏



### 甘藷栽培に就いて

先づ容易に得られるもの、以て第一とし普通用ひられるものは新鮮厩肥、稻藁、荷葉、米糠、人糞尿等である。此れ等材料は何れも新鮮なものを得ぶが故に落葉なども初冬の中に極き集め乾燥のまゝ、屋根下に貯蔵し又稲藁も寒風や雨雪に曝したものは良くないから取り扱ひに注意せねばならぬ。次に一坪に要する此れ等肥料物の使用量は材料の種類踏込みの技術、場所等に依つて必ずしも定せず唯目安に過ぎないが、三例を示せば次の様である。

例の一、落葉厚さ五寸、半熟厩肥厚さ七、八寸、米糠二升、人糞尿五升。

例の二、落葉七分、稻藁三分(四〇貫、踏込分注水し置き充分湿氣を興ふ)人糞尿二升、米糠三升。

例の三、稲藁三斗、新鮮厩肥厚さ一尺二、三寸、人糞尿一斗。

(四)床土、醗熟物踏込後は上部に床土を置くこと一般温床と同様である。甘藷床に用ふる床土は腐熟厩肥、稲藁、麥の馬鹿糞、藁灰、石灰等である。又前年度苗床の諸材料を堆積腐熟せしめたものにも良い。

前記材料は普通細土に對し三分の一乃至半量を混用し、藁灰、石灰等は床土消毒に用ひられる。

床土の深さは二寸乃至三寸以内で、一坪當り三十貫内外を要することになる。

### 最新流行

眼鏡類 値  
ユニピア 安  
各圖時計 特

高橋時計店

内外科 小兒科 梅毒 淋病

**市原醫院**

平町 (電話一四一)

**難波醫院**

内科 醫學博士 難波睦

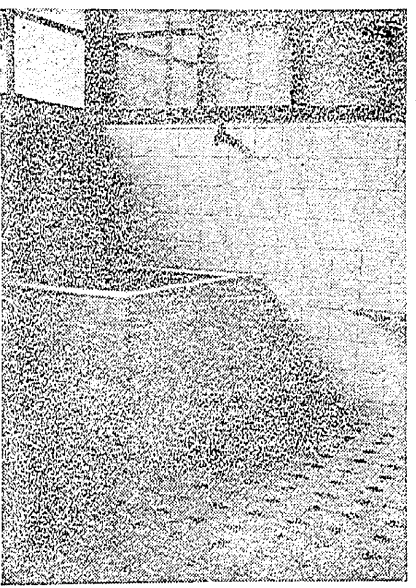
平町大町新川端 (電話五〇二番)

内科、小兒科

**大森醫院**

醫學士 大森 勇

平町南町 電話二五八番



大谷建材器店 電話三六六番

洋酒罐詰 卸 小賣

食料品類

上總屋商店 大沼忠衛

平町新川町二九

模範 裁縫

高島屋洋服店

平町南町 電話三八六番

夏服の御用命は 高島屋へ

一新柄着荷

藤の園に遊ぶ様な食堂の裝飾を

一覽下さいませ

美しき女給のサービス

カフェエータバヒラ

(電話六二〇番)

染毛赤染がらま

黒髪之美!

フツクと輝いた髪は、その美しさ、その艶、その香り、その力、それは「八雲」の賜です。

山崎邊藥局

平五丁目本町

是非一度御出下り

(部一の堂食)

朝日

朝日新聞

朝日新聞社

朝日新聞